



投票所をめぐる

2大問題を考える

選挙権は、有権者の誰もが政治に参加することができる平等に与えられた権利です。皆さんがその権利を行使し、重要な選択をする場所である投票所は今、大きな問題を抱えています。投票所をめぐる問題点と解決方法を一緒に考えましょう。

問 選挙管理委員会事務局 ☎(24)8740



問題 2

小さい投票所ほど赤字

銚子市の人口減少とともに有権者数も減っています。平成6年に66,173人だった有権者の数は、6月現在51,784人で、20%以上減少しています。有権者が減ることで起こる問題は1 投票所にかかる経費です。例えば選挙経費で最も大きな割合を占める人件費は、1 投票所あたりの有権者数が少ないほど赤字になります。

▼ 1 投票所にかかる人件費（衆議院選挙の場合）

有権者数 (人)	国からの委託金	実際の人件費	差額
500未満	201,475円	263,400円	-61,925円
500～999	216,606円	263,400円	-46,794円
1,000～1,999	325,554円	293,400円	32,154円
2,000～2,999	333,434円	323,400円	10,034円
3,000～4,999	374,949円	353,400円	21,549円



問題 1

狭い・古い

投票するための施設が狭いこと、老朽化していることが大きな問題の1つです。青年館など概ね100㎡未満の狭い施設は衆議院選挙と参議院選挙が同日に行われるなど4つ以上の投票があった場合に十分な空間を確保できず、対応できないおそれがあります。施設の段差の解消や駐車場の確保など、高齢者や障害のある人などすべての人ができるだけストレスなく安心・安全に投票できるようにすることも急務です。



◀2つの投票でも記載台でぎゅうぎゅうの室内。スムーズな動線確保した上ではこれが限界

▶段差のある出入口には踏み台やスロープを置いて対応しています。つまずいたりよろける人も多く危険

